



郵政産業ユニオン TOKYO

● 発 行 ●
 郵政産業労働者ユニオン
 東京地方本部
 発行責任者 鶴島 一広
 〒104-0031 中央区京橋 3-6-3
 京橋通郵便局 5F
 TEL・FAX 03-3535-5447
 piwutokyo@yahoo.co.jp

“元気の出る” 13春闘へ!



1日 キャラバン行動を展開!

3・1本社前集会

時給UP、正社員化と均等待遇を求めて

日時

3月1日(金)

11時45分~12時30分

場所

郵政本社前

終了後院内集会有り

東京地本の春闘キャラバン行動の取り組みは、連合主導の中で低迷する13春闘に“喝”を入れ、元気の出る春闘にしていこうという取り組みです。タカ派、新自由主義の安倍政権が誕生し、経営側も頑なに賃上げを拒んでいる中で、みんなが声を出し、行動していくことが大切であり、求められています。

今13春闘、民営化以降、正社員、時給制契約社員とも

東京地本は2月1日、13春闘の第一歩として全1日の春闘キャラバン行動を取り組みました。各局での早朝ビラ配布から始まり、Aコース、Bコースに分かれてAコースは10時から武蔵野局、12時から新宿北局、Bコースは同じく豊島局、深川局と4局での局前宣言を行いました。それぞれ出発時、昼帰局時の集配労働者への効果的なアピールができました。14時からは東京支社での行動を30名で行いました。14時からは日航の不当解雇と闘うJAL原告団(17名参加)とともに、JR新橋駅SL広場前で60名の参加で大情宣活動を展開しました。



ほぼ賃上げがない状況で、何よりも人間らしく生活できる賃金の獲得が最も重要な課題です。昨年11月に発表された平成25年度3月期の中間決算では、事業会社は経常利益で290億円、当期純利益で120億円の黒字を見通しています。いわゆる「単黒」(単年度黒字)は達

成できたのです。局会社と合わせれば500億円の経常利益、350億円の純利益を上げていることになりました。会社には賃上げを行う「体力」は十分にあります。

郵政には20万人の非正規労働者が働いています。「年繁時の格差」を見るまでもなく、正規との格差は歴然としています。正社員化の道も月給制からの登用に戻ってしまいました。この4月1日から労働契約法改正され、第20条で「不合理な労働条件の禁止」が施行されます。有期という雇用契約を理由に無期との「不合理な労働条件」は禁止されます。郵政が社会的にも注目されています。郵政産業ユニオンは非正規組合員が数多くいる「混合組合」であることから第20条を武器に、非正規労働者の処遇改善、均等待遇の実現を勝ち取っていかなくてはなりません。

13春闘、組合員の団結と行動で元気な春闘として闘い、少しでも目に見える成果を勝ち取っていきましょう。組合の力を精一杯、発揮していきましょう。

東日付印 京

コロンビア大学のシーナ・アイエンガー教授は、一九六九年カナダのトロントで

生まれた。両親はインドからの移民でシーク教徒。三歳のときアメリカへ移住するが当時目を患っていて、高校生になる頃には視力を失ってしまう。▼厳格なシーク教に従い着るものまで決められていた彼女は、アメリカの教育を受ける中で「自分で選ぶこと」の力を、選択というテーマで研究することになる。▼彼女の著した「選択の科学」(文藝春秋社刊)が面白い。「選択は人間に活力を与え」「選択権を持つことは生き物の基本的欲求である」と。十分に与えられた「食事」で選択の余地の無い動物園の動物は、野生の動物より寿命が圧倒的に短いのだとか。▼「選択は人生を切り開く力になる」との現実感薄いが、「衝動のために長期的な利益を犠牲にする選択」には思い当たることが多い。▼日々の買い物から政権の選択、その選択により変化を続ける社会や職場、そして自身。選択した結果への責任と自身の成長を、あらためて考えて見たい。

(道)



新春のつどいに120名
ひろげよう! たたかいの輪

2013年新春のつどいが文京区民センターで統一後、初めて開催される今回は、総勢120名の参加でおおいに盛り上がりました。委員長のあいさつで情勢・職場・春闘が話され、これからの運動が重要であることが話されました。葛飾支部の女性組合員の乾杯ではじまり、次に新入組合員の紹介で参加した3名の方があいさつし、大きな拍手と歓声が上がりました。

震災ボランティア

福島・南相馬レポート
練馬支部・吉沢利夫

福島県の南相馬にボランティアにいったきました。練馬支店からは3名が参加し、大泉支店2名、芝支店、新宿北支店で働いている人で計7名です。南相馬には多くのには途中の道路が原発事故の影響から通行禁止のために大きく迂回しなければなりません。禁止地域はわずか30分程度で済ませるために3時間余計にかかったために東京の練馬駅9時30分出発から現地のボランティアセンターにいったのは18時過ぎで約9時間もかかってしまいました。通行禁止区間を事前に知っていれば、あるいは道路公団が再三にわたって周知をしていけばこういうことはなかったのですが、それにしても南相馬は遠いというのが実感です。(つづく)



また多くの来賓が参加され、あいさつ激励をいただきました。第二部では、目黒支部の組合員森永太郎さん、南風すずむバンドのみなさん、郵便合唱団のみなさんの歌



主催者あいさつ 鶴島委員長



熱唱する森永太郎さん

と演奏でおおいに盛り上がりしました。またくじ引きでは豪華景品が多数用意され当選者は笑顔で受取っていました。最後にスクラムで歌と団結ガンバロウで閉会となりました。

今年もスキー交流会

組合統一後初めての、東京地本主催のスキー交流会が、1月20日から22日まで、群馬県尾瀬岩鞍スキー場で行われました。今シーズン初めての人や、スキー交流会だけしかスキーをしない人も、雪不



足の心配もなく三日間思う存分スキーを楽しむ事が出来ました。夜の交流会では、スキーの話だけではなく、各職場の実態など年々悪化している状況などが出され、改めて労働組合の必要性を認識しました。参加された皆さん、お疲れ様でした。来年もこの時期に開催予定ですので、ぜひ多くの参加をお待ちしています。

新春ナンバープレイス解答

答えは・・・A=1 B=3でした。
正解者には図書カードをお送りします。

解答者から寄せられた職場の様子をご紹介します。

12月29日に書いています。25日から連続4Hの超勤です。郵便労働者は心の中では言いたい事だらけでしょうが、この時期、文句も言わず、モクモクとやっています。(小石川・K)

目黒の年末繁忙は大変でした。総選挙、都知事選と重なり、例年より忙しく、12月10日頃から超勤3H~4Hのところもありました。また、社員に対しては、休息時間を各班、個人任せに管理者がしたのでほとんどの人が休息を取らずに仕事をしていた。組合として休息時間取得を促す放送をするようにと申し入れた。12/31は、22班中3分の1が超勤4Hでした。残りの班は3Hでした。元旦は、全員7時出勤で3Hの超勤で皆クタクタです。(目黒・H)

支部単独での旗開きが不可能となり、今年は小石川支部と合同での開催となりました。(赤羽・H)

年末の職場は大混乱でした。特に12月初旬は「選挙」専担者が出せず、分室から応援をもらいながらなんとか。また、年末に向けての業研すら開こうとせず、ミーティング(朝礼)の中での周知ですまそうとしていました。深夜勤が多いので周知すら聞いていない社員も少なからずいる状態です。どこの職場もそうですが、窓口課は特に様々な業務を抱えています。増員を強く要求します。(銀座・O)

当面の行動日程

- 2月1日(金) 春闘キヤラバン
- 2月2・3日(土・日) 中央委員会
- 2月7日(木) 地本執行委員会
- 2月8日(金) JAL控訴審
- 2・8中央総行動
- 全国地本書記長会議 (8・9日)
- 2月14日(木) 支部長会議(書記長)
- 2月15日(金) 権利春闘行動
- 2月24日(日) 春闘学習決起集会
- 3月1日(金) 本社前集会

